

前立腺がんの話

前立腺がんの発症数が増加傾向にあり、
中高年の男性は注意が必要です。
…でも、早期に発見すれば怖くありません。

発症者の多い前立腺がん

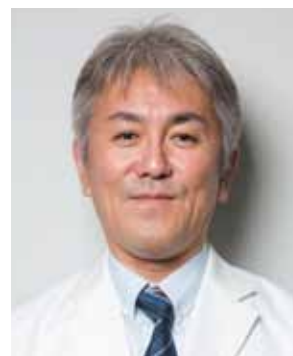
皆さんは「前立腺がん」という病気をご存知でしょうか？

日本では、年間7万人ほどの方が前立腺がんを診断されています。これは、胃がん・肺がん・大腸がんに次いで多いものです。

しかし、前立腺がんは、5年後の生存率が97・5パーセントとなっており、寿命に影響しない「長生きのできるがん」といわれています。

それでも、年間で1万2千人

簡単に信頼性の高いPSA検査を受けることが、前立腺がんの早期発見につながります。



岐阜大学医学部泌尿器科
教授 古家 琢也 医師

昨年11月から美濃病院の泌尿器科外来を担当しています。専門は前立腺がん治療で、美濃病院で治療が困難な場合は、大学病院と連携して治療にあたらせていただきます。

岐阜大学にはロボット手術装置（ダビンチ）もあり、安全な手術を提供できる体制が整っています。

自覚症状があまりない 早期の前立腺がん

ほどのような方が、前立腺がんで亡くなっています。長生きできるはずの「がん」なのに、なぜ亡くなるのでしょうか。

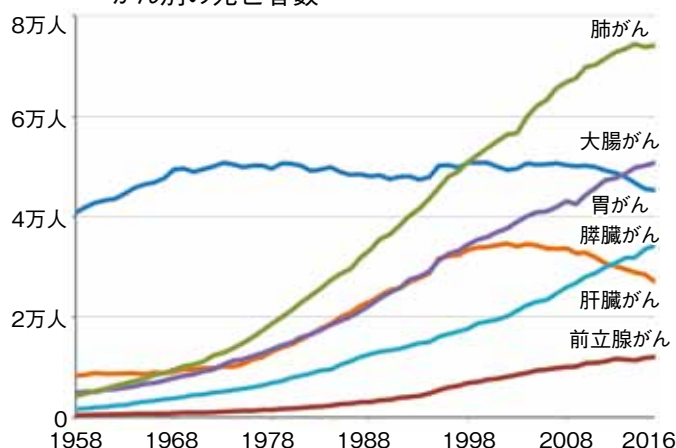
前立腺がんは、早期に発見すること、死亡の可能性を大幅に改善することができます。しかし、早期の前立腺がんは、自覚症状を感じにくいいため、「がん」が進行してから、発見され

前立腺がんが 疑われる症状

- ・尿がでにくい。
- ・残尿感がある。
- ・下腹部に違和感がある。
- ・血液の混じった尿がでる。

ることが多くなります。
次のような症状のある方は、「年齢のせい」と思わず、泌尿器科を受診していただくことをおすすめします。

がん別の死亡者数





▲岐阜大学附属病院で導入されている手術ロボット「ダビンチ」



▲前立腺がん発見のため受ける「PSA検査」は、血液を採取するだけの簡単なものです。



▲より詳しい診断を行うため、MRI検査を実施する場合があります。

泌尿器科受診に関する問い合わせは、美濃市立美濃病院(☎33-1221)まで

前立腺がんの治療は、
多くの方法が
選択できます

前立腺がんの治療法は、注射

早期発見のために
血液検査(PSA検査)を
受けましょう

前立腺がん検診の一つに、PSA検査というものがあります。この検査は、血液を採取するだけで診断ができるものです。

PSA検査は、50歳を過ぎたら受けたほうがよいものですが、通常の健診には含まれていないことが多いため、普及していないのが実状です。

によるホルモン治療や放射線治療、手術による治療など多くの方法が選択できるようになってきています。

また、最近の研究では、手術をしたほうが他の治療に比べ、長生きできるといった報告も多数発表されています。

「お腹を切るのは嫌だなあ」と思う方がほとんどだと思いますが、現在は、これまでの手術に比べて格段に体への負担が少ないロボット手術が盛んに行われています。この手術は、出血量がわずかなため、多くの方が、手術の翌々日には手術前と同じように動けるようになります。

また、不幸にも転移が見つかったとしても、ホルモン治療や放射線治療、ロボット手術を組み合わせて、根治させ

ることが可能となってきました。

前立腺がんの早期
発見のため、
早めの受診をしましょう

前立腺がんの早期発見の第一歩は、PSA検査を受けることです。が、MRI検査をあわせて実施することで、より詳細な診断が可能となります。

どちらも美濃病院泌尿器科で受けることができます。

「おしっこ」に悩みのある患者さんは、泌尿器科を受診してください。

— 連休中(4月27日(土)~5月6日(月))の外来診療のお知らせ —

5月1日(水)・2日(木)

外来診療を行います。

◆外来診療の内容

	内科	外科	整形外科	眼科	小児科	婦人科	耳鼻科	脳外科
5/1	○	—	○	○	○	○	—	○
5/2	○	○	○	○	○	○	○	—

※診療時間は、通常の診療時間と同じです。
担当医については、変更になる場合があります。

就職、転職希望者向け

病院見学会開催

対象者／看護学生(2020年3月卒業見込み)、美濃病院への就職(転職、再就職)を希望する方

日 時／5月18日(土) 13:00~15:00

集 合／美濃病院健診棟2階
みの健康ホール

問い合わせ先／美濃病院事務局

☎33-1221(人事担当)